

## 1 中期学校経営方針

### (1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○「学ぶ楽しさ」「創り出す喜び」を感じる授業を展開するために、学習の基礎・基本を身に付け、それらをもとに活用探究していく力を育てるとともに、課題解決に向けて粘り強く取り組む姿勢を育てます。</p> <p>○ボランティア大鳥、本読みの会、学援隊、幼稚園・保育園児、中学生等との交流、保護者ボランティアの活動などを充実させ、仲間や地域の人たちと協働して取り組む活動を通し、人と共に生きる大切さを理解し、地域に愛着がもてる子、地域への参画意識を育てます。</p> <p>○「学力向上」「児童指導」「特別活動の充実」「地域連携」を重点に、様々な現代的課題に対応できる力を育てます。</p>

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		<p>○言葉で表現する力を育て、豊かなかかわり合いの中で、自尊感情（自己肯定感・自己有用感）を高める。</p> <p>○「挨拶・返事・靴揃え」を合言葉に、気持ちの良い学校生活をおくれるように意識する。</p> <p>○エコキャップ集めやユニセフ募金などの児童の主体的な活動を大切にしてい</p>
担当	人権・道徳教育推進委員会	く。

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

挨拶・返事・靴揃えを合い言葉にして日々の教育活動を行っている。また、BSF（運動会）・わくわくワールド・伝えようの会・宿泊体験学習など課題解決学習や人とのかかわりを軸にした年間計画を立てている。児童の実態として自分のよさにあまり気付いていなかったり、自分の考えとは違う考えの子とコミュニケーションが取れなかったりすることがある。道徳的価値は理解していることもあるが、人とのかかわりやルールを守ることなど、かみ砕いて伝える必要があるところがある。してはいけないと分かっているも行動に正しく反映されないことがある。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育

#### ○全教育活動を通して道徳教育の充実を図る。

- ・全学級の道徳の授業を家庭・地域に公開する。
- ・全教育活動の中で豊かな体験の場を設定し、意図的・計画的に道徳的価値を自覚させるとともに、道徳の時間で補充・深化・統合できるようにする。
- ・道徳教育について家庭・地域に発信し、意識の啓発を図るとともに、連携して子どもを育むようにする。

### 【項目 体験学習の充実】

#### ○様々な集団による活動を充実させる

- ・異学年交流や集団活動を通して、ルールを守ることの大切さを感じたり、思いやりの心を育てたりする。
- ・家庭・地域との連携を図り、様々な教育活動の中でコミュニケーションの力を高めたり、自分のよさを自覚したりする。
- ・「BSF（運動会）」「宿泊体験学習」「わくわくワールド」「伝えようの会」「縦割り活動」「児童会活動」「クラブ活動」「委員会活動」などをより自主的、積極的に行うようにする。